

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)	◎	一般小売店〔精肉〕（店員）	・まん延防止等重点措置が解除されると売上が上がる。
	◎	家電量販店（従業員）	・新学期に向け、新生活用品の需要が増えていく。
	◎	観光型ホテル（専務）	・新型コロナウイルスの感染拡大状況は全く先が読めないが、収束すると期待している。
	○	商店街（代表者）	・まん延防止等重点措置が解除され、3回目のワクチン接種が進むと、新型コロナウイルスも収束に向かい、景気は良くなる。
	○	商店街（代表者）	・コロナ禍ではあるが、気候が暖かくなると人は動くため、景気に反映していけるように対応していきたい。
	○	商店街（代表者）	・3～5月と、様々な外出がある時期になり、現在の商況を考えれば景気はやや良くなる。
	○	商店街（代表者）	・年度末に向かい、客が必要な物品をそろえるため、売上は上がる。
	○	商店街（代表者）	・まん延防止等重点措置が3月に解除されると、人の動きは一気に増加する。しかし、その動きが売上にどこまで影響するか分からず、多少は良くなっても厳しい状況が続く。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス第6波も3月になれば収束し、また、3回目のワクチン接種も進むため、景気は少し良くなる。
	○	一般小売店〔青果〕（店長）	・気温の低下、新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置の影響で、客も外出を自粛していたが、気温も上がり、新型コロナウイルス第6波も落ち着いてくる。県産の果物等のギフト商品とつながるため、期待をしている。
	○	一般小売店〔生花〕（経営者）	・これから2～3か月は、卒業式や退職、母の日などで花を贈る機会が多くなる。新型コロナウイルスオミクロン株が流行しているも、特に母の日には、遠方から帰ることができないためWeb等で花を贈る注文があり、売上が伸びると予想している。
	○	スーパー（店長）	・第3回ワクチン接種の進捗による新規感染者数減少で、生活が通常へ戻っていく。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大によるまん延防止等重点措置が消費者心理に影響する傾向が以前より薄れてきている。ただし、客から感染者が出るなど、多数の客を相手にする商売であり、人手不足のなか、従業員への感染等の心配は続く。一方、ロシアのウクライナ侵攻による物価の上昇が、景気回復を妨げる原因ならないか危惧している。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の減少や3回目ワクチン接種の拡大、外国からの留学生受入れ緩和により、人の動きが活発になる。
	○	コンビニ（店長）	・まん延防止等重点措置が解除すれば、若干景気は変化すると期待するが、見通しが立たない。
	○	コンビニ（エリア担当・店長）	・3月になるとまん延防止等重点措置も解除され、気温も上がり、来客数や客単価が戻ると期待をしている。
	○	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの第6波も落ち着き、客足も戻ってくる。
	○	家電量販店（店員）	・来客数は変わらないが、確実に購入する客が増加しており、売上が前年を上回っている。ファックスや電話機も入荷するようになり、新型コロナウイルス発生前とほぼ同じ売上状況であるため、2～3か月先は現在よりも良くなる。
	○	その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・当県は、まん延防止等重点措置が適用されており、売上は前年と変わらない。解除後は人流も増加し、これから春先にかけて売上も増加していく。
	○	その他専門店〔書籍〕（副店長）	・新型コロナウイルス感染拡大が収束して人流が戻り、売上も戻る。
○	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・第6波は山場を超えており、消費者動向は新型コロナウイルスの感染状況に慣れてきている。気温も上がり、新型コロナウイルスの治療薬やまん延防止等重点措置が解除されれば消費動向は高まる。今季は冬物処分も思うようには進まず、売上も厳しかったため、反動でファッションや服飾雑貨、化粧品等を中心に需要が高まる。	

○	その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター] (統括者)	・新型コロナウイルス第6波が一旦落ち着く。
○	一般レストラン (スタッフ)	・コロナ禍に慣れ、感染を気にしない状態が増えていく。
○	観光旅館組合 (職員)	・まん延防止等重点措置が解除になり、感染状況がある程度落ち着けば、気候も良くなり、旅行客が増える。
○	観光型ホテル (総務)	・まん延防止等重点措置が解除され、3回目のワクチン接種が加速することで、人の動きが戻る。従来の企業の人事異動や卒業、入学時期の宴席需要が高まり、景気を押し上げることが期待される。
○	都市型ホテル (スタッフ)	・新型コロナウイルスオミクロン株のピークアウトにより、人流の更なる増加が見込める。
○	旅行代理店 (職員)	・新規感染者数も今よりは減少する。
○	タクシー運転手	・新規感染者数の高止まりで、経済の回復が遅れているが、ワクチン接種による効果で景気にも期待をしたいが、ロシア・ウクライナの情勢もあり、物価の高騰が続くと予想され予断を許さない状況である。
○	通信会社 (営業担当)	・まん延防止等重点措置が解除される見通しであるため、やや景気は良くなる。
○	観光名所 (従業員)	・新型コロナウイルスの影響というよりは、例年の閑散期に当たり、新規感染者数の急拡大が発生しなければ売上は増加する。
○	競馬場 (職員)	・第6波の出口戦略が議論され、社会経済活動の活発化が期待できる。
○	美容室 (経営者)	・春先になると客の気持ちも明るくなり、行動も増えてくるため、消費意欲につながってくる。2～3か月先の景気の回復を期待している。
○	理容室 (経営者)	・この業種は、卒業や入学に影響されるため、前月と比較すると少しづつ人の動きが出て若干良くなっていく。
○	その他サービスの動向を把握できる者 [介護サービス] (管理担当)	・国内製薬会社からの飲み薬の承認申請が行われており、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大も緩やかではあるが、全国的に縮小傾向となっている。
○	住宅販売会社 (従業員)	・イベントや展示場数増加により、商談件数も増加傾向にあり、他社競合も多くなるものの、景気はやや良くなる。
□	商店街 (代表者)	・新規感染者が多いと、高齢者の多い地方の商店街は影響が大きい。まん延防止等重点措置の解除で、客の行動が回復すれば良いが、また新たな変異株による感染が広がるようでは期待は持てない。
□	商店街 (代表者)	・長引くコロナ禍で自粛生活が長くなっているが、昼間の商店街では以前と比較すると少しにぎわいを取り戻している。しかし、今回のロシア・ウクライナ情勢は、世界全体に大きな経済損失を与え、思わぬ株価暴落に陥る可能性がある。そうなると、一段と不景気が高まると予測される。
□	商店街 (代表者)	・業者や客は、現状に慣れ、新しい生活様式が身に付いてこの状態が続いていく。
□	一般小売店 [鮮魚] (店員)	・入学、卒業シーズンであるが、新型コロナウイルスの感染がどうか収束しなければ状況は変わらない。3回目のワクチン接種が始まっているが、先行き不透明である。また、魚の水揚げが少なく、もし新型コロナウイルスの感染が発生していなければ、高額になっていた可能性がある。早く元の状況に戻ることを期待している。
□	一般小売店 [食料雑貨] (店員)	・海外輸出に復調の兆しがみられるが、一部にとどまっている。
□	一般小売店 [茶] (販売・事務)	・ほとんどの客が高齢者で外出を控えているため、まだまだ景気の回復に時間が掛かりそうである。新型コロナウイルスオミクロン株の影響で先行き不透明であり、早急な回復はない。
□	百貨店 (企画担当)	・新型コロナウイルスオミクロン株の発生や、ロシアのウクライナへの軍事侵攻の影響等、先行き不透明な要素が大きい。

□	百貨店（企画担当）	・ワクチン接種率の上昇もあり、新規感染者数は減少するが、大きな回復には至らない。また、ガソリン、食品等の価格上昇や、ロシアのウクライナへの軍事侵攻の影響により、心理的に来店を自粛する客もいると予想され、現状からの回復は見込めず、低迷した状況が継続する。
□	百貨店（企画担当）	・ゴールデンウィーク等もあるが、大きな意欲がないため、ほとんど変わらない。
□	百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少により、来客数は伸びるが、紳士、婦人衣料部門が低迷しており、前々年度の売上には程遠い状況がしばらく続く。
□	百貨店（営業担当）	・連日の新規感染者数の報道で、来客数や購入客数の回復は、新規感染者数が減少するまで遅れるが、県下のサテライトショップやギフトショップ、通信販売、Web受注は好調が予想される。また、自家需要やし好性の高い舶来雑貨・和洋酒・時計・リビング用品等は堅調で、売上単価、商品単価は好調に推移している。しかし、新社会人や新学期需要の来客数増加は見込めるものの急回復は難しい。
□	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響が少し緩和しているが、景気は現状のままである。
□	百貨店（業務担当）	・客の関心は3回目のワクチン接種の時期であるため、これから2～3か月は購買への動きには期待できない。
□	スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染対策が続けば、政策転換でもない限り、前向きな消費意欲の喚起は期待できない。
□	スーパー（経理担当）	・新しい生活様式や新型コロナウイルス感染拡大収束後の動きに予断を許さず、また各種値上げが多いため家計を圧迫し、可処分所得が減り食品消費が落ち込む懸念がある。
□	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新変異株への危機感もあり、当面、経済活動が活発になるような期待は持てない。
□	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス第6波もピークを過ぎ、少し好転する。しかし、先行きはまだ明確ではない。
□	衣料品専門店（店員）	・ゴールデンウィークに人が動き、その後感染拡大となり、今と同じ状況になる。
□	衣料品専門店（取締役）	・季節も変わり、新型コロナウイルスも落ち着くと信じているが、ロシアのウクライナへの軍事侵攻や、物の値上がりもあり、普通に生活を送ることへの懸念がある。外出の機会も少なく、社会状況もこのようななかで、洋服に金を費やすとは思えない。
□	家電量販店（店長）	・来客数が例年よりも10%少ない状態が続いており、増加する気配がない。業界的には、現時点で売上を左右する好材料が少ないため、2～3か月後も現況と変わらない。
□	乗用車販売店（従業員）	・納期が改善されない限り、回復は見込めない。
□	乗用車販売店（従業員）	・市場や環境状況は大きく好転しない。
□	乗用車販売店（総務担当）	・半導体不足と新型コロナウイルス新規感染者数が改善し、収束する兆しがないため、メーカーの新車生産が好転されず、危惧される。
□	住関連専門店（従業員）	・本来想定されていた新生活需要が全くない。3月にかけて大きな需要が見込めないため、大きく改善はしない。
□	高級レストラン（経営者）	・閉店している店も多く、人も通らず、現在が最悪の状態である。先行き不透明であるため、この悪い状況は変わらず、3か月先は第7波が出てくる懸念もある。
□	一般レストラン（経営者）	・まん延防止等重点措置の解除に期待しているが、長期にわたる制限のため外出を控えることに慣れてしまい、外食の機会や利用頻度がかなり減少する。
□	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が収束し、一時的に景況は良くなるが、その後は感染が再拡大するという繰り返りで、3か月後には再度感染拡大となっている予想できるため、現状と変わらない。
□	タクシー運転手	・ワクチン接種の効果というよりも、一人一人の意識で景気動向が変わる。
□	通信会社（企画担当）	・第6波の影響もあり、先行き不透明である。売上が落ち込む見通しではないが、新たな見込み増加となる予測もできない。
□	通信会社（営業担当）	・通常なら繁忙期に入るが、新型コロナウイルスオミクロン株次第であるため、先行きが見えない。

□	通信会社（統括者）	・店舗における予約来店が客にも定着しており、衝動的に購入したい客の対応を出張イベントにて対応できており、3月の最大の需要時期を乗り切り、前年並みの販売を見込んで活動している。
□	美容室（経営者）	・全体に購買意欲がないため、今後の景気も良くはならない。金が回るような対策を期待している。
□	美容室（店長）	・各店舗で感染防止対策を採っているため、新規感染者数は減少していくが、新型コロナウイルスの感染状況次第で景気は変化する。
□	設計事務所（所長）	・ここ1年近く同じ状況が続いている。
▲	百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
▲	スーパー（企画担当）	・コロナ禍に加え、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が現実となり、先行きは不透明である。消費意欲が更に低下すれば、景気がより悪化する。
▲	スーパー（統括者）	・ロシア・ウクライナ情勢による経済状況の懸念と、インフレによる影響で、ディスカウントストアへの客の流れも強くなり、買上点数の減少による客単価の減少へつながってしまう。
▲	コンビニ（経営者）	・この状況が続くと、店舗存続の危機である。国に対しても具体的な対策を実施してもらいたい。飲食店だけでなく、通常の店に対しても支援対策が必要である。
▲	コンビニ（エリア担当）	・ロシア・ウクライナ情勢を含め、更なる値上げの波が来る。
▲	家電量販店（従業員）	・ロシア・ウクライナの世界情勢等、今後の影響が不透明で、部品や半導体不足の状況が改善されるとは思えない。加えて、食品やガソリン料金等の値上げによる出費を極力抑える生活防衛意識の高まりが懸念される。
▲	住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が山場を迎えている。加えて、ロシアのウクライナへの軍事侵攻により、石油の大幅な値上げ等、物の値上がりが続く、消費は低迷する。
▲	タクシー運転手	・コロナ禍に加えて、ロシアのウクライナ軍事侵攻が勃発し、経済にとっては良い状況ではない。特にエネルギー関係の値上がりが様々な影響を及ぼしている。
▲	通信会社（企画担当）	・2～3月が一時的な販売増加のピークである。
▲	通信会社（業務担当）	・まん延防止等重点措置の影響が引き続き出てくる。
▲	ゴルフ場（従業員）	・原油価格等の物価上昇に加え、ロシアのウクライナへの軍事侵攻の状況が不透明であるが、年金受給者の客の割合が高いため価格転嫁が難しく、経営は厳しさを増す。
▲	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・半導体や樹脂製品の納入遅れや原油の値上がりが影響し、納期どおりの生産が厳しく、受注できない状況にある。さらに、ロシア・ウクライナ情勢により、更なる原油高、流通の悪化を懸念している。
▲	設計事務所（代表）	・新型コロナウイルスの感染拡大の収束がみえない。
×	スーパー（店長）	・ロシア・ウクライナ情勢の影響で原油価格の高騰となり、商品の値上げで購買意欲を下げたため、日本だけでなく世界中で景気は間違いなく悪化する。
×	衣料品専門店（店長）	・ワクチン接種が子供も対象になり、新規感染者数も少し山を越えつつあるが、この先2～3か月の景気は、悪い状態が続く。
×	乗用車販売店（代表）	・新型コロナウイルスの影響で、景気は悪くなっていく。
×	高級レストラン（経営者）	・まん延防止等重点措置が20日で解除され、それ以降、少しずつ客の来店はあったが、新規感染者数が高止まりしており、会社関係の客の動きはない。3月の予約状況もないが、歓送迎会の時期までには、新型コロナウイルスも落ち着き何とか戻ってくることを望んでいる。
×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数は多いながらも、まん延防止等重点措置により減少傾向にあるが、重症化率が高い新型コロナウイルスオミクロン株ウイルスの情報もある。さらに、ウクライナでは軍事侵攻が始まり、経済への大きな影響も懸念され、景気回復は全く感じない。
×	ゴルフ場（営業）	・新型コロナウイルスや原油価格の高騰、ロシア・ウクライナ情勢により、景気は後退する。原油価格の高騰への対策と新型コロナウイルスの感染防止対策の結果が良くならなければ、このまま景気は停滞する。また、ロシアのウクライナへの軍事侵攻により、製造業の不安定要素も大きい。

	×	設計事務所（所長）	・新年度からの様々な物の価格上昇があるが、収入については不透明である。新型コロナウイルスやロシア・ウクライナの世界情勢によって景気は左右される。
	×	住宅販売会社（従業員）	・景気は、ロシア・ウクライナ情勢の影響で原油や半導体不足で生産活動も滞っており、ますます先行きが不安となり、消費に金が回ることが少なくなっていく。株価も連動して下がっており、株売却後に消費に回るか、あるいは貯蓄に回るか不透明で懸念されるため、景気は悪くなる。
企業 動向 関連 (九州)	◎	電気機械器具製造業（経営者）	・主要取引先からは、更に増産要請を受けている。
	○	農林水産業（経営者）	・2月は、コロナ禍で動きが取れない状況であるが、新規感染者数も徐々に落ち着き始めており、3月は厳しくても4～5月は従来の動きに戻ると考えている。大手加工メーカーも値上げのなか新しい商品を売出ししており、量販店も移動や卒業、入学のイベントも重なり、ある程度期待ができる。また、外食ではすぐに元に戻るとは考えられないが、まん延防止等重点措置が解除されることにより、徐々に戻ると予想しており、人手不足も3月からの入国制限の緩和を期待している。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・各国が半導体に対する対策を打ち出し、その効果が出ているため、半導体業界全体の動きが良くなっている。
	○	電気機械器具製造業（取締役）	・ロシアによるウクライナへの軍事侵攻で、各方面にすぐに影響が及ぶとは考えられないが、不安定要素である。
	○	電気機械器具製造業（総務担当）	・半導体関連客の生産予測等から景気は良くなる。
	○	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・客先の生産は現状より増加計画であるため、景気は若干良くなる見込みであるが、半導体の供給不足を懸念している。
	○	輸送業（従業員）	・海外向け健康食品の受注が好調で、特に野菜不足から青汁の売上が伸びている。また、オーガニックの受注が、量、価格共に上向きになっている。
	○	金融業（営業）	・3回目のワクチン接種が進み、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数も下がり、人流、物流共に、若干上向くと考えられるが、新型コロナウイルス次第である。
	○	不動産業（従業員）	・賃貸オフィスの稼働率が、高水準を維持している。
	○	広告代理店（役員）	・営業利益率では厳しいものの、今月よりも売上が伸びると見込んでいる。
	○	経営コンサルタント（代表取締役）	・求人数の問合せ件数が増加しており、企業の投資意欲が上向きになっている。
	○	経営コンサルタント（社員）	・物価の上昇はあるが、感染防止対策を徹底しているため、まん延防止等重点措置が解除されると購買意欲は増えていく。
	○	その他サービス業〔物リース〕（職員）	・新型コロナウイルスの影響次第であるが、新年度を迎え、若干経済活動が活発化する。
	□	家具製造業（従業員）	・例年春先の市場は、落ち着く傾向にあるが、今年はこれまで以上に大きく落ち込む。3回目のワクチン接種が1つの鍵となるのは間違いない。
	□	化学工業（総務担当）	・今年度の業績と比較しても、3か月後は大きな変動がない。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・以前では3～4月に結婚シーズン等の引き出物関係の受注があったが、ここ2年はほとんどなくなり、幾らかWebの売上があるくらいで余り伸びない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・半導体以外の業界では、受注状況が停滞しており、他の客の状況からでも今後の好転は望めそうにない。
	□	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・原油や各金属価格が値上がりしているため、原料調達も難しく、また、コロナ禍も影響し、生産ができずに供給不足が続いていく。
	□	輸送業（従業員）	・新型コロナウイルス第6波が落ち着いても、停滞している経済が回復するにはまだまだ時間を要する。消費者の生活様式が新型コロナウイルス発生前に戻ることはなく、飲食店や観光業の回復次第である。
	□	通信業（職員）	・今年度に引き続き、来年度の官庁が施主の営業案件数と受注予想額が伸びておらず、受注目標に対して厳しい状況となっている。
□	通信業（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響が一時的に落ち着いても、根本的な対策にまで至っていない。	

	□	金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株が減少しておらず、3回目のワクチン接種も進んでいない。国外では、ロシアのウクライナへの軍事侵攻も不安な状況が続いていく。物の動きも、不活発な状態であり、物価も上がり消費も望めない。建設関係にも受注関係に影響が出ており、現状が良くならずが続いていく。
	□	金融業（調査担当）	・感染拡大が山場を超えたという見方もあるが、新規感染者数が高止まりせず、順調に減少するかは不透明であり、新型コロナウイルスオミクロン株の亜種が出現する可能性もある。今後2～3か月間に、各種制限が解除されるかは分からない。
	□	金融業（調査担当）	・新型コロナウイルスに加え、ロシア・ウクライナ情勢も大きな不安材料となっており、経済活動や消費意欲の回復は今後の動向次第である。
	□	広告代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響を受け、社会活動が停滞したままであり、景気回復への見通しが立たない。
	□	経営コンサルタント（社員）	・行動が内向きになっており、新しい動きは期待できない。
	▲	食料品製造業（経営者）	・石油を中心とする原材料等の値上げが、収益を圧迫していく。
	▲	繊維工業（営業担当）	・繁忙期に新型コロナウイルスの感染が職場でまん延すると厳しくなるため、感染拡大の山場が過ぎるのを願っている。感染対策は全て実施しているが非常に心配している。
	▲	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・現在の受注案件が3月でほぼ納品を完了する。
	▲	金属製品製造業（事業統括）	・材料費が高騰し、部品の供給も改善される兆しはなく、ロシアのウクライナへの軍事侵攻は不透明で、先行きは悪い材料しか見当たらない。
	▲	建設業（従業員）	・大型物件の受注が取れず、厳しい現状が続いている。見積案件も少なく、景気はやや悪くなる。
	▲	金融業（従業員）	・公共投資が高水準で推移しており、住宅投資も持ち直し傾向があるが、原材料費の値上げが相次いでいる。また、新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数が高水準で推移しているため、飲食店や旅行、観光関連業者では先行きを懸念している。
	▲	新聞社〔広告〕（担当者）	・ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の影響が不安材料である。
	×	建設業（社員）	・官公庁に依存する地方の業者にとって、5月のゴールデンウィークまでは、危機感を持って対応していく。
	×	輸送業（総務担当）	・ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が、経済全体に与える影響は予測できないものの、良い方向には向かない。更なる原油高、部品調達の際の物価高を懸念している。
	×	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・市町村の1月の補正予算でも、委託業務への予算が少なかったため、発注が少ないことが予測される。また、来年度の業務を先行して入札やプロポーザルの実施も例年と比較して少ない状況にある。このため、受注の機会が少なくなることから、景気が悪くなる。
雇用 関連 (九州)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着けば、企業や求職者共に動きが出てくる。現在は、市況の情報提供を求められることが多い。
	○	人材派遣会社（社員）	・3回目のワクチン接種に関する注文や、新年度に向けての通常の注文も増えている。
	○	人材派遣会社（社員）	・年度末のまん延防止等重点措置の適用により、今期業績の見込みが立たず、欠員補充は一時検討の声が多い。まん延防止等重点措置が解除されると、求人、求職者にも動きが出てくる。
	○	求人情報誌製作会社（編集者）	・このまま不安な状態が続くと景気低迷は免れず、求人数も低迷の状態で推移する。また、まん延防止等重点措置が解除され、新型コロナウイルスの感染が落ち着くと景気は良くなるが、物価の上昇もある。新型コロナウイルスの感染状況次第である。
	○	新聞社〔求人広告〕（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、第6波の新規感染者数が減少しつつある現状をみると、2～3か月後は収束し、景気は良くなっている。ただし、再度感染拡大となれば、景気の悪化を繰り返す可能性は高い。

○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの第6波の感染拡大にもかかわらず、求人数が減少していない。また、飲食サービス業、小売業、旅客運送業からの求人減少も起きていないことから、今後の景気はやや良くなっていく。
○	職業安定所（職員）	・コロナ禍にあるが、新規求人数は順調に伸びている。
○	民間職業紹介機関（職員）	・採用抑制の期間が長く、コロナ禍でのオンラインを使った採用手法もこの2年で確立され、新型コロナウイルスの感染が拡大しても、よほどでない限り大きく状況が変わることはない。
□	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
□	学校〔大学〕（就職支援業務）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大も山場を超えたが、それでもまだ新規感染者数は多い水準で推移している。多くの都道府県でまん延防止等重点措置が延長される等、秋以降緩和していた日常生活への影響や経済への影響が心配される。ただし、企業の採用活動は、前年度採用を凍結していた企業の採用活動再開や採用数の増加等、採用活動で明るい話題も増えている。また、多くの企業の2023年卒採用者数は、今年と同程度になる。
▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・コロナ禍であるためテレワークが定着しており、各種の規制が解除されても新しい生活様式や外出自粛等で、今後の消費に少なからず影響し、景気はマイナスになる。
▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が減らず、飲食店や旅行関係の事業活動や個人の消費活動に歯止めが掛かっている。
×	職業安定所（職員）	・新規求人数は1月は年度最高の数値となったが、2月は前月と比較して、800人以上の減少が見込まれる。また、新型コロナウイルスオミクロン株が収束せず、まん延防止等重点措置が適用され、雇用調整助成金の相談や受付件数が増加している。